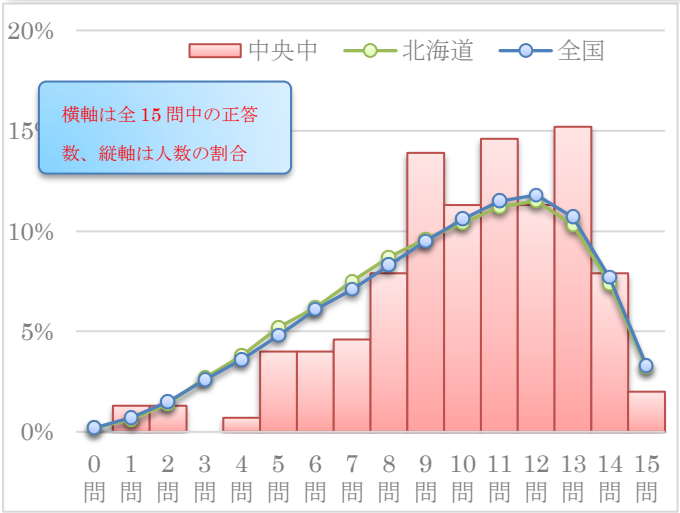
中央中だより

江別市立中央中学校
電話 011－385－5581　http://www.ebetsu-city.ed.jp/tyuo-t/



本年４月に３年生で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。すでに、３年生の個人の結果につきましては、生徒を通じてご家庭にお配りしています。本校では調査結果を踏まえ、今後も生徒の学力向上に向けた教育計画や授業改善に取り組みます。保護者の皆さまには、３年生に限らず、各家庭においても家庭学習の一層の充実や生活リズムの安定に向け、ご指導いただきますようお願いいたします。

国　語　全国の平均正答率と比較して「上回っている」結果でした。



〈平均正答率〉

全道比	全国比
大きく上回っている	上回っている

〈内容別の正答率(%)〉

区分	区分	全国比
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	上回っている
	情報の扱い方	やや上回っている
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	上回っている
	書くこと	大きく上回っている
	読むこと	上回っている

〈全国と比べて正答率の高い問い〉

書くこと〈思考・判断・表現〉

◎3四　書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く。

正答率 57.6%

〈全国と比べて正答率の低い問い〉

書くこと〈思考・判断・表現〉

●3三　文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 62.9%

3 石井さんは、国語の時間に、文書作成ソフトを使って随筆を書いています。次の【石井さんが書いている随筆】を読んで、あとの問いに答えなさい。（1から5は、段落の番号を表します。）

【石井さんが書いている随筆】

1 私には趣味がある。休日になると、私は自転車のハンドルを握りしめ、目的地へ向かう。そして、その日の気持ちに合った景色を見付けては、スケッチブックに写しとる。私の趣味は絵を描くことだ。相棒であるスケッチブックは、今使っているもので四冊目になる。今までに描いた絵を見返すと、その時々の私の気持ちを相棒が教えてくれる。これも絵を描く楽しみの一つだ。

2 三月のある日曜日。その日は、朝から気が重くて、朝食をとっても元気が出なかった。それでも、私は自転車で十五分の大きな公園に向かった。しかし、そんな日に限って、強い向かい風が私に吹き付ける。坂のない平たんな道のりが、とても長く感じられる。何度も引き返そうかと思ったが、なんとか公園にたどり着いた。

3 休日を過ごす人々で公園はにぎわっていた。そんな姿を見ると、絵を描こうという気持ちが自然とわいてきた。私はベンチに腰掛け、鉛筆を走らせる。公園で休日を楽しむ人々の姿をスケッチブックに写しとった。

4 帰りは、進む方向が変わり、私を苦しめたあの向かい風が追い風になった。風が私の背中を押して、自転車はぐんぐん進んでいく。私の気持ちもどんどん明るくなって、［　　］ペダルをこいだ。道の途中、横風や向かい風になるときもあるが、気にならなかった。「もう一枚描いてから帰ろうかな。」家の近所の小さな公園で自転車を止めた。

5 同じ風でも、自分の向き合い方が変わると感じ方も変わることを知った。どんなことも自分次第なのだ。この日描いた二枚の絵には、そんな私の気持ちが表れている。

三 石井さんが、【石井さんが書いている随筆】のような展開にした意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 経験から新たな問いが生まれる展開にすることで、読み手が文章の続きを想像して読めるようにした。

2 経験から気付きを得たという時間の流れに沿った展開にすることで、書き手に寄り添って読めるようにした。

3 書き手が気付いたことを文章の始めと終わりに示す展開にすることで、最も伝えたいことを強調するようにした。

4 同じ場面を文章の始めと終わりに示す展開にすることで、同じ出来事が繰り返されることに読み手が気付けるようにした。

四 石井さんは、自分が書いた文章について、山田さん、田中さんと交流し、この文章のよい点や改善点と、それを踏まえた今後随筆を書くときに生かしたいことをメモにまとめています。あなたならどのように書きますか。【1段落についての交流場面①】をもとにして【メモ①】の書き方を参考にしながら、【1段落についての交流場面②】をもとにして【メモ②】を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【1段落についての交流場面①】

石井　1段落で、絵を描くことが趣味だということを印象付けるように工夫したのですが、どうでしたか。

山田　最初の「私には趣味がある。」という一文で、趣味は何だろうと知りたくなり、先を読みたくなりました。

田中　私もそう思いました。

【1段落についての交流場面②】

石井　スケッチブックを「相棒」と表現したことはどうですか。

田中　「その時々の私の気持ちを相棒が教えてくれる」とスケッチブックを人のように表現しているのが印象に残りました。

山田　スケッチブックは今までの自分の気持ちが詰まっているものだから、「相棒」よりふさわしい比喩もあるのではないかと思いました。

---

3 四　正答例

〈よい点や改善点〉「スケッチブックを「相棒」と表現したのはよかった。しかし、他にもふさわしい言葉があったかもしれない。」

〈生かしたいこと〉「読み手の印象に残るように比喩を用いる。その際、選んだ言葉がふさわしいかどうかを考える。」

3 三　正解　2

「経験から気付きを得たという時間の流れに沿った展開にすることで、書き手に寄り添って読めるようにした。」

生徒質問調査　家庭学習に対する意欲や取組に課題が見られます。

昨年度の生徒質問調査からも課題が見られた項目でしたが、今年度も課題が見られました。１時間未満の学習時間の生徒が53.4%（昨年度 50.9%）と半数以上の生徒が１時間未満という状況であり、家庭学習が十分に身に付いていない（主体的に家庭学習に取り組んでいない）生徒が大変多い実態が明らかになりました。また、家庭学習では、主体的に計画的に学習できていない実態も見られます。学校独自のアンケート結果から 68.1%（昨年度 66.4%）の生徒が平日に２時間以上、SNS 利用や動画視聴をしている結果も明らかになりました。帰宅後の生活習慣の改善が必要です。「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」という質問で「週に１回以上」と答えた生徒は 61.1%（全国 72.2%）、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問で積極的な肯定をした生徒は 34.7%（全国 41.0%）、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問で積極的な肯定をした生徒は 28.5%（全国 37.4%）と生徒たちの**『自分の強みを実感する力』や『将来の目標を描く力』には、これからさらに伸ばしていける大きな『伸びしろ』がある**ことが分かりました。

ご家庭とも連携しながら、子どもたちが自信を持って前進できるよう、温かい声かけと手厚い支援を続けてまいります。ご家庭においても、進路や未来を見据えて、毎日の生活習慣・学習習慣について、ご家庭であらためてご指導をお願いいたします。